



第 4 回

ほんとうの原っぱ

考え方

問題文の内容をまとめてみましょう。

● トノサマバッタがへってしまった

理由① 原っぱが少なくなったこと

理由② ほんとうの原っぱが少なくなったこと

● ほんとうの原っぱとは

・いろいろな種類の野草が、自然なすがたで生きている原っぱ

・トノサマバッタのすめる原っぱ

↓大しばふ広場や親水公園などはまったく別のもの

わたしたちは、げんぎいでも残っている自然のままの原っぱを全力で守りぬぎ、同時に、新たにつくりあげてゆかなければならない。

な種類の野草が、自然なすがたで生きているわけではないからです。(15~18行目)

ここから、筆者が「ほんとうの原っぱ」として残したいと考えているのは「いろいろな種類の野草が、自然なすがたで生きている」原っぱだとわかりますね。

問三

(X) を、いくむ文の最後を見てみましょう。

(X)、そこには、……わけではないからです。

「〜から」という言葉から、(X) の直前の内容に対する理由が書かれていることがわかりますね。ですから、ウ「なぜなら」があてはまります。「なぜなら……:(だ)からです」という、理由を表す文の形を覚えておきましょう。次に、(Y) の前後の内容を見てみましょう。

そのようなスポーツをする人は多いでしょう

↔ (反対の内容)

そのようなスポーツができない人も、好きでない人もたくさんいるのです。

この二つは反対の内容なので、(Y) にはイ「しかし」があてはまります。

問一

筆者はこの文章で、トノサマバッタがへってしまったことについてのべています。まず、前書きに注目しましょう。前書きからは、「バッタの顔には二種類ある」「トノサマバッタは『仮面ライダータイプ』』ということがわかります。

これらをふまえて問題文を読み進めると、「ほんとうの原っぱが少ない」ことについて説明している部分で、「仮面ライダーのピンチ」(34行目) という表現が見つかります。筆者は、ほんとうの原っぱが少なくなり、トノサマバッタがすめる場所がへってしまった様子きょうを「ピンチ」と表現しているのです。

問二

かせんしきで目に入ってくるものとして「野球場、ゴルフ場、サッカー場」があげられています。これらを見て、筆者は——②のように思うのですね。野球場やサッカー場について、筆者は13~14行目で次のように言っています。

野球場のグラウンドやサッカー場、大公園のしばふ広場などは、じつは、ほんとうの原っぱとはいえません。

では、どうしてこれらは「ほんとうの原っぱ」とは言えないのでしょうか。次の部分に着目しましょう。

ほとんど草が生えていなかったり、人工しばがはりめぐらされていたり、しばばかりが生えていたりして、いろいろ

問四

③の直前の一文に「原っぱ遊び」の例が書かれています。確認しましょう。

・家族連れが休日にお弁当を広げたり
・お年寄りがのんびり散歩を楽しんだり
・小さな子供たちがシロツメクサの首かざりをつくったり
・お父さんがむすこにトノサマバッタのつかまえ方を伝えたり

問題文に書かれていないのはエですね。問二で見たように、筆者は野球場のことを「ほんとうの原っぱとはいえません」と書いていることからわかりますね。

問五

④の直後の段落の初めに「たとえば」とあることに注目しましょう。この段落で、——④の例についてくわしく説明していることがわかりますね。



「エブリスタディ」第4回の問題文の大事なところを困ってみよう。

39~43行目

あちこちのJRの機関区や操車場などが、合理化や鉄道による貨物輸送の減少などのおかげで、いきょうではいしになり、かつて、たくさんの電気機関車やディーゼル機関車、貨車などが走り回っていた所が、大きな原っぱに変わったりします。

この内容を指定された字数以内でまとめましょう。

ココが大切!

「たとえば」という言葉は、例をあげて説明するときに使われます。文章を読むときは、このような言葉を手がかりにすることが大切です。

問六

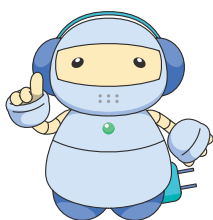
⑤の前後を見てみましょう。

・大しばふ広場とか親水公園とか、名前や見かけは、それらに似たものはけっこうある

・しっかり観察してみれば、やはりまったく別のものである

たくさんある「大しばふ広場」や「親水公園」と、「にているけれどまったく別のもの」と筆者が言っているのは46〜47行目の「トノサマバッタのすめる原っぱ」と「水辺の野鳥たちのオアシスであるしっ地」です。

答えは「原っぱ」「しっ地」だけでは足りないよ。「大しばふ広場」や「親水公園」も見かけは「原っぱ」や「しっ地」だから、どのような「原っぱ」や「しっ地」かまできちんとお答えしよう。



問七

最後の段落に、筆者の考えが書かれています。筆者は、残っている「自然のままの原っぱ」を守り、それと同時に、新たに「つくりあげてゆかなければならない」と思っているのが、正解はエです。筆者は「ほんとうの原っぱ」を残したいと思っていますが、「大しばふ広場」はほんとうの原っぱではないので、アはまちがいです。同様に、「大しばふ広場」にはトノサマバッタはいないのでウもまちがいです。問五で見たように、わたしたちは「気がつかないうちに、原っぱを新たに作りだしている」のでイもまちがいです。

答え

問一 仮面ライダーのピンチ

問二 いろいろな種類の野草が、自然なすがたで生きている(原っぱ。)

問三 X||ウ Y||イ

問四 エ

問五 J Rの機関区や操車場などがはいしになり、電気機関車などが走り回っていた所が、大きな原っぱに変わる。(49字)

問六 ・トノサマバッタのすめる原っぱ

問七 ・水辺の野鳥たちのオアシスであるしっ地

エ